

事業コード	H18-建-終-1		区 分	国庫補助 県単独
事業名	都市計画街路事業		部局課室名	建設交通部 都市計画課
事業種別	二種改築(バイパス)		班 名	街路班 (tel) 018-860-2444
路線名等	都市計画道路 横手環状線		担当課長名	高松 正彦
箇所名	横手市婦気		担当者名	上席主幹兼班長 進藤 敏博
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり
	施策コード	02	施策名	街なか活性化による賑わいの再生
	指標コード	04	施策目標(指標)名	都市計画道路整備率

1. 事業の概要

事業期間	H13 ~ H16 (4年)	総事業費	11.2億円	国庫補助率	0.5	
事業規模	延長 L = 516m 幅員 W = 6.0(25.0)m					
事業の立案に至る背景	横手環状線は、横手市の市街地を一周する最も重要な市街地環状道路であり、当該区間周辺には、横手市役所、体育館及び消防本部等公共施設が集中している外、今後、平鹿総合病院が移転することになっている。 本路線を整備することにより、国道107号から各施設へ直接アクセスが可能となる。また、環状機能が発揮されることで混雑緩和や都市内交通の円滑化を図るものである。					
事業目的	市街地環状道路の整備 交通混雑の緩和 ICアクセス					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		当初計画	最終	最終コスト比較 $C / C = (0.99)$ 最終費用便益比 $B / C = (4.30)$		
	事業費	1,130,000	1,119,000			
	経費内訳	工事費	506,000	503,116		
		用補費	533,000	528,213		
		その他	91,000	87,671		
	財源内訳	国庫補助	565,000	498,100		
		県債	447,000	516,000		
		その他	67,800	67,140		
		一般財源	50,200	37,760		
	事業内容	調査設計 用地補償 道路改良	調査設計 用地補償 道路改良			
事業終了後の問題点	特になし。					
住民満足度等の状況 (事業終了後)	満足度を把握した対象 受益者 一般県民 (時期:平成18年 9月) 満足度把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審査会 ヒアリング インターネット その他の方法(具体的に) 満足度の状況 目的地までの時間短縮効果や利便性の向上、走り易さなどで高い評価を得ている。 消防車両の速達性向上による緊急時の安心感向上などの評価が高い。 商店街の店舗が増えたことによる買い物の利便性向上などの評価が高い。					
上位計画での位置付け	あきた21総合計画の「快適で安全な生活を支える環境づくり」に位置づけられている。					
関連プロジェクト等	平鹿総合病院建設事業					

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止 指摘事項 なし																												
	指摘事項への対応 なし																												
事業効率把握の手法及び効果	<table border="1"> <tr> <td>指 標 名</td> <td colspan="4">都市計画道路整備率</td> </tr> <tr> <td>指 標 式</td> <td colspan="4">整備済延長 / 都市計画決定延長</td> </tr> <tr> <td>指 標 の 種 類</td> <td>成果指標</td> <td>業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>有 無</td> </tr> <tr> <td>目 標 値 a</td> <td colspan="2">48 %</td> <td rowspan="2">データ等の出典</td> <td rowspan="2">都市計画年報</td> </tr> <tr> <td>実 績 値 b</td> <td colspan="2">48 %</td> </tr> <tr> <td>達成率 b / a</td> <td colspan="2">100 %</td> <td>把握の時期</td> <td>平成18年 4月</td> </tr> </table>	指 標 名	都市計画道路整備率				指 標 式	整備済延長 / 都市計画決定延長				指 標 の 種 類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無	目 標 値 a	48 %		データ等の出典	都市計画年報	実 績 値 b	48 %		達成率 b / a	100 %		把握の時期	平成18年 4月
	指 標 名	都市計画道路整備率																											
	指 標 式	整備済延長 / 都市計画決定延長																											
	指 標 の 種 類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無																								
	目 標 値 a	48 %		データ等の出典	都市計画年報																								
	実 績 値 b	48 %																											
	達成率 b / a	100 %		把握の時期	平成18年 4月																								
指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法 指標を設定することができなかった理由 																													
具体的な把握方法と効果（見込まれる効果） データの出典含む 																													

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 結 果
有 効 性	住民満足度の状況 A B C 平成18年9月に利用者、地域住民などに対してアンケートを行った結果、時間短縮効果や利便性向上、安全・快適性の向上などにおいて満足度が高かった。	A
	事業の効果 A 達成率100%以上 B 達成率80%以上100%未満 C 達成率80%未満 当該区間の完成により、各種公共施設への利便性が向上した。	C
効 率 性	事業の経済性の妥当性 A B C 費用便益比 B / C は 4 . 3 0 であり、効果が大きい。	A
	コスト縮減の状況 A 縮減率20%以上 B 縮減率20%未満 C 縮減なし 再生材やプレキャスト製品を使用することでコスト縮減を図った。	C
総 合 評 価	A (妥当性が高い) B (概ね妥当である) C (妥当性が低い) 横手市の市街地環状道路を担う区間の整備であり、交通円滑化に対する有効性が高いほか、時間短縮効果や利便性の向上、安全・快適性の向上などに対する住民満足度も高いことから当該事業は妥当である。	

3. 評価結果の同種事業への反映状況等（対応方針）

事業開始前の予備調査や設計段階で現場の把握や、実施・詳細設計における適正な事業費の把握に努め、コスト縮減に関しても積極的な取り組みをし、効率的な事業執行を図る。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の「対応方針」を可とする。

終了箇所評価判定点検表

(様式 8 - 1)

(1) 各評価項目の判定基準

観点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果		
ア有効性	一 住民満足度の状況	a 住民満足度を的確に把握しており、満足度も高い	2	2	/	A:有効性は高い (4点) B:有効性はある (1~3点) C:有効性は低い (0点)		
		b 住民満足度を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が低い	1					
		c 住民満足度を把握していない	0					
	二 事業目標の達成状況	a 達成率が100%以上	2	2	/		1次	
		b 達成率が80%以上100%未満	1					
		c 達成率が80%未満	0					
計			4	4		A		
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	費用便益比	a B/Cが、国庫補助採択基準がある場合はそれ以上その他の場合は1.5以上となっている	2	2	/	A:効率性は高い (2点) B:効率性はある (1点) C:効率性は低い (0点)	
			b a、c以外	1				
			c B/Cが、1.0未満	0				
	二 コスト削減の状況(費用便益比が算定できない場合)	a 当初と比較して最終コスト縮減率が20%以上	2	0	/		1次	
		b 当初と比較して最終コスト縮減率が20%未満	1					
		c 当初と比較して最終コスト縮減率がなし	0					
計			2	2		A		

(2) 総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	A	/
B (概ね妥当である)	「A」判定、「C」判定以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		